

課題番号8

基本方針：Ⅱ	課題名：チャレンジ品目の振興(大和野菜)	
対象：大和野菜生産者、各ほうれん草部会	計画期間：H29～31	
	事務所名：東部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果
①まな生産安定 ②首都圏出荷体制整備 ③強風、雪害対策 ④寒熟ほうれん草品種検索	作付状況確認 首都圏出荷打合せ 風雪害対策現地指導 寒熟ほうれん草品種実証	大和まな面積 1.6ha → 1.9ha 首都圏出荷 未整備 → 2ルート 強化ハウス 13棟増加 寒熟品種検索 2品種

総合評価(コメント)
<p>A:6名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 県内での一層のPRをお願いします。 ■ 地域の特産物として取り組まれており新品種の結果を期待しています。 ■ 関係機関との役割分担のなかで、普及の役割を發揮している。 ■ 普及活動は適切である。さらに大和野菜の生産拡大、販路拡大を進めてほしい。 ■ 風雪害対策について、導入の際のメリット(補助が受けやすい等の制度的な支え)があれば良いと感じた。

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none"> ■ 本課題は次年度までの3カ年計画であるので、継続して取り組んでいきます。 ■ 寒熟ほうれん草の品種実証では、2品種とも現地調査の結果とともに生産者からも高い評価が得られたので、栽培マニュアルの指定品種として追加します。 ■ 風雪害対策では、ハウス補強資材の補助事業が農水省の新年度事業として予算化される見込みなので、本事業を活用しての普及拡大を目標設定します。